

〔科目名〕 マネジメント論Ⅰ	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 基幹科目
〔担当者〕 中川 宗人 NAKAGAWA Muneto	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業内で掲示する 場所: 505 研究室	〔授業の方法〕 反転授業
〔科目の概要〕 <p>この授業では現代企業のマネジメントを構成している経営管理の基本的な内容を学びます。現代企業社会の歴史、日本企業の基本的特徴、経営管理を構成している基本的な諸機能、それらを理解するための代表的な概念や学説などを学び、現代企業経営および経営学の専門的なトピックへの関心を深めることを目指します。</p> <p>授業では以上の内容について、教科書を用いて学修していきます。原則として1回につき1章ずつ読み進めていきますので、必ず購入してください。</p> <p>授業方法は、事前の読書と授業内での作業を組み合わせた反転授業を行います。具体的には、授業の前に指定の章を読み、わかった部分をまとめ、わからなかった部分はチェックしておきます。授業内では、教科書の内容を理解しているか、質疑応答・テスト等を通じて確認していきます。個人だけでなくグループでの作業を行う場合があります。</p> <p>なお、授業に関する連絡や資料データの配布、課題の管理は Google クラウドルームを使用します。登録方法を初回の授業で説明しますので、履修者は必ず出席し2回目までに登録できるようにしておいてください。</p>		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け）・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>経営管理の概要を学ぶことで、戦略、組織、人事、財務、マーケティングなどの他の専門科目をより深く理解するための土台が身につきます。</p>		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <ul style="list-style-type: none"> ・現代企業の基本的な経営管理の諸機能について説明することができる。 ・具体的な経営事象について、自分なりの問題関心をもって考察することができる。 		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <ul style="list-style-type: none"> ・しゃべるスピードや音量についての希望が多かったので、聞き取りやすい説明を心がけます。 ・大福帳などを活用し、出席管理を厳格に行っています。 ・LMS での資料の配布など、事前・事後の学修がしやすい工夫を行っています。 		
〔教科書〕 塩次・高橋・小林, 2009, 『経営管理 新版』有斐閣		
〔指定図書〕		
〔参考書〕		
〔前提科目〕		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) <p>毎回出席を取ります。事務局が認める「公欠」を除いて、4 回以上欠席したものは不合格とします。</p> <p>成績評価は、授業内での確認テスト約 40%、期末テスト約 60%、合計 100 点満点で行います。</p> <p>詳細な評価方法は初回の授業で説明します。</p>		

<p>〔評価の基準及びスケール〕</p> <p>学生便覧の評価基準に準拠します。</p> <p>A:80点以上</p> <p>B:70点以上</p> <p>C:60点以上</p> <p>D:50点以上</p> <p>F:50点未満</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>教科書の指定範囲を事前に必ず講読したうえで、授業内では積極的に思考・発言することが求められます。これらが難しい場合は単位取得が困難となりますので、計画的な履修を行ってください。</p> <p>授業内での作業に配慮が必要な場合は、教務を通じて相談してください。</p>	
<p>〔実務経歴〕</p>	
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): ガイダンス</p> <p>内 容: 授業の進め方、成績評価について説明します。履修予定者は必ず出席すること。</p> <p>やむを得ない事情で出席できなかったものは、出席した者に連絡を取り、自身で内容を確認すること。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営の誕生</p> <p>内 容: 現代の企業社会、企業の発展と経営管理</p> <p>教科書・指定図書 教科書 序章</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 管理の時代</p> <p>内 容: 近代企業の登場、所有と支配の分離、財閥の形成と解体、ヨコの企業集団の形成</p> <p>合併・買収ブームの傷跡</p> <p>教科書・指定図書 教科書 第1章</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営管理の発展</p> <p>内 容: 資本主義と企業の発展、経営管理の系統図、経営管理の処理論</p> <p>教科書・指定図書 教科書 第2章</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 組織のデザイン</p> <p>内 容: 機能別組織と管理諸原則、事業部制組織の登場、日本型組織デザイン、組織のヨコの連携</p> <p>教科書・指定図書 教科書 第3章</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営戦略</p> <p>内 容: 構造は戦略に従う、企業ドメインの設定、競争戦略、グローバルな展開</p> <p>教科書・指定図書 教科書 第4章</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 資源の管理</p> <p>内 容: 伝統的な資源管理、資源管理の諸潮流、組織風土の適性、学習とイノベーションのジレンマ</p> <p>教科書・指定図書 教科書 第5章</p>

第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 組織間関係の管理</p> <p>内 容:今日の状況と課題、日本におけるこれまでの組織間関係、資源依存パースペクティブ 戦略的提携のロジック</p> <p>教科書・指定図書 第6章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): モティベーションと組織活性化</p> <p>内 容:人間関係論と行動科学、動機づけの理論、組織活性化、バーナード再発見 蘇る組織均衡論</p> <p>教科書・指定図書 教科書 第7章</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営のリーダーシップ</p> <p>内 容:リーダーの資質と役割行動、影響力とリーダーシップの理論、ミドルのリーダーシップ トップのリーダーシップ</p> <p>教科書・指定図書 教科書 第8章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 企業文化の創造と変革</p> <p>内 容:企業文化の意義と機能、企業文化と戦略、企業の自己革新と企業文化の変革</p> <p>教科書・指定図書 教科書 第9章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 日本の経営管理</p> <p>内 容:日本の経営の特殊性、日本的経営の神秘、日本的経営の移植 日本の経営管理を見る目、賃金と熟練、成果主義ブームの教訓</p> <p>教科書・指定図書 教科書 第10章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): グローバル戦略</p> <p>内 容:企業の多国籍化、日本企業の国際化戦略、グローバル経営</p> <p>教科書・指定図書 教科書 第11章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): 育てる経営の管理へ</p> <p>内 容:「経営する」ということ、やり過ぎの理由、育てる経営、未来志向</p> <p>教科書・指定図書 教科書 第12章</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):まとめ</p> <p>内 容:授業のまとめ、質疑応答、期末試験の説明などを行います。</p> <p>教科書・指定図書</p>
試 験	